

【協働の評価】

<p>協働で進めて いきたい理由</p>	<p>放課後かまくらっ子の理念である「出あう・つながる・ふるさとで自ら育つ」の実現に向けて、子どもたちが主役となる放課後事業を実施するために、放課後 NPO アフタースクールが持つスキルを活用し、学校施設を活用した放課後かまくらっ子の運営・放課後事業におけるインターネットリテラシー等に関すること・未来の放課後事業に関することに対する支援の協力を要請するため。</p>
<p>協働の 成果・効果</p>	<p>【協働の成果目標】 放課後かまくらっ子に参加する子どもたちの放課後等の時間をより豊かにするために、子どもたち一人ひとりに豊かな放課後の時間を提供するとともに、健やかな成長に寄与すること。</p> <p>【達成できた点】 教室活用の阻害要因となっていた制約事項を解消し、拠点ビジョンに基づく環境づくりの下準備ができた。また、子どもの声を活かし居場所づくりへの参画機会を作る取組みの実施や、高学年向けプログラムの実施等による多様な体験機会を創出することができた。</p> <p>【達成できなかった点】 「低学年の居場所」としてのイメージから、すべての子どもに開かれた居場所へのアップデートができなかった。また、令和4年度に設計した家具デザインの具現化及びお披露目ができなかった。</p>
<p>相互評価</p> <p>※上手くいったこと 問題点・課題など</p>	<p>【事業実施前】 ★3 ○市 特になし ○団体 特になし</p> <p>【事業実施中】 ★4 ○市 特になし ○団体 特になし</p> <p>【事業終了時】 ★5 ○市 市民活動団体が、青少年課が所管する放課後かまくらっ子において、子どもたちが主役となる放課後事業への支援を行うために、連携及び協力を行った。</p> <p>○団体 青少年課が所管する放課後かまくらっ子において、子どもたちが主役となる放課後事業への支援として、教室活用の阻害要因となっていた制約事項を解消し、拠点ビジョンに基づく環境づくりの下準備ができた。また、子どもの声を活かし居場所づくりへの参画機会を作る取組みの実施や、高学年向けプログラムの実施等による多様な体験機会を創出することができた。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>協働活動は昨年度末で終了した。</p>